

日米施設職域大佐級意見交換の実施について

2月27日(火)から2月29日(木)の間、航空自衛隊は、アメリカ合衆国ハワイ州の太平洋空軍(PACAF)司令部との間で日米施設職域大佐級意見交換を実施しました。

本意見交換は、航空機の運用等を支える施設分野に従事する日米の大佐級の意見交換により、同分野の日米相互理解の深化や、共同被害復旧能力の向上及び施設の抗たん性の向上を図ることを目的として実施されました。

また、迅速に被害復旧を行うための取り組み等について共有し、どのように今後の訓練等に反映させていくかについて意見交換を行いました。意見交換の成果については、今後の日米共同被害復旧訓練等で検証されます。

航空自衛隊と米空軍は、日米同盟のもと緊密に連携し、防衛施設の強靱化及び共同対処能力の向上を図っており、これらは、地域の平和と安定に資するものです。

航空自衛隊は、引き続き、施設職域を含む様々な分野において日米同盟のさらなる深化に取り組んでまいります。

